

『大学生によるまちづくり提案2024』発表順及び概要

【日時】令和6年12月23日（月） 【場所】宇都宮市役所14階 大会議室
・提案発表 9：40～（詳細は以下の表のとおり、1団体 発表10分）
・ポスターセッション 13：40～（ポスター展示 9：30～16：00）

発表順	提案名	団体名	所属	概要
			大学名	
1	みやニティラボ ～リビングラボによる学びと憩いの新たな居場所づくり～	帝京大学 経済学部 地域経済学科 島ゼミ	帝京大学	私たちは、宇都宮市内でのコミュニティの場があまり常設されていないこと、オリオン通りの中心市街地としての役割を失っていることを課題として挙げた。これらの課題を解決するために、オリオン通りに産学官民の憩いの場を作ること提案する。
2	”LRTパーク”で愉快だ宇都宮	宇都宮大学 行政学研究室	宇都宮大学	東部総合公園の利用者同士の交流を促す方法として、LRTパークで愉快だ宇都宮を総称として掲げ、その内容は以下の3つの事業、芝生広場及び屋根付き多目的広場にて屋外図書館の開催「パーク・ライブラリー（Park Library）」、普通び祭り「レトロゲーム・フェス Retoro Game Festival」、大学サークル・市民交流会「U&Cネット（University And Citizen Connect）」を提案する。
3	田川を起点としたにぎわい復興 ～FROM TAGAWA TO THE FUTURE～	宇都宮共和国大学 シティライフ学部 まちまちサークル	宇都宮共和国大学	JX宇都宮駅西口周辺エリアの再活性化に向け、「田川にぎわい協議会」の発足、誰もが利用しやすい環境整備、独自の水害対策の3つの事業からなる「『田川future design』プロジェクト」を提案する。
4	まちなかに広がる憩いの輪 ～だれもが移動しやすいまちの実現に向けた継続的な情報収集とシステムの提案～	宇都宮大学 建築計画研究室 佐藤ゼミ	宇都宮大学	LRTが開業し、公共交通の利便性が向上している宇都宮市において、LRT電停から地域拠点まで、だれもが安全・安心に移動可能な歩行空間の創出に向けた提案する。
5	住民の要望調査及びその実行	宇都宮大学 夢を叶えて宇大生	宇都宮大学	課題解決や何かしらの要望を求める地域あるいは住民と、ボランティア支援を行いたいと思っている人の仲介となるものを作成する。その方法として二者のニーズを合致でき、かつ参加の敷居が低いプラットフォーム作成を提案する。
6	「宮 Chil（ミヤチル）」育成プロジェクト	宇都宮共和国大学 三浦ゼミ 2年	宇都宮共和国大学	【地域の歴史・伝統文化・産業を「子ども主体」で体験できる機会】を「新たな価値」と捉え、共創的な場づくりを通じて、本市の児童生徒に対する「郷土への理解・愛着の醸成に資する活動機会の創出」という課題を解決することを目的としている。
7	宮リンピックによる共創の輪の創造 ～コミュニティ立脚型スポレクの展開～	宇都宮共和国大学 2年陣内ゼミ	宇都宮共和国大学	地域コミュニティの活性化と共創の輪の構築を、コミュニティ立脚型スポーツレクリエーション「宮リンピック」を通じて実現していくことを提案する。
8	私たちのまち宇都宮の新たな商店街の創造を目指して ～戦略的商店街への挑戦～	宇都宮共和国大学 内藤マーケティングゼミ	宇都宮共和国大学	キャンパス付近の商店街でデコレーションを展開することを計画に盛り込んだ。それにより街を通りや区画ごとに彩ることで宇都宮市の特色を可視化させ、住民の地元愛の高揚や他の市町村との差別化が可能となり、宇都宮市の活性化に寄与することを目的に提案する。
9	リソース・コネクティブ・ブルムナード ～空間資源を活用したコミュニティの再編による白沢の継承方法～	宇都宮大学 遠藤研究室	宇都宮大学大学院	奥州街道の宿場町として栄えた宇都宮市白沢町において、宿場時代の本陣跡や街なかの水路、地域に根差した寺社など、町内に点在する個別性の強い空間資源を繋ぎ合わせるとともに、人々の滞留活動を生み出すブルムナードを作り、住民同士の交流を創出することにより、新たな価値を創造し、新しい白沢の姿を再構築する手法を提案する。
10	若年層が結婚したい・暮らしたいと思える街づくりへ ～結婚・出産の早期化に向けた政策づくりを通して～	帝京大学 地域経済学科 宋ゼミ	帝京大学	大学生・大学院生向けのWEBアンケートを実施し、若年層の結婚・出産について意識調査を行い、宇都宮市で安心して結婚・出産ができるような環境を整備することを提案する。
11	まちづくりゲームTENMIYAの提案 ～新たな宇都宮の価値の創造を！～	宇都宮共和国大学 3年陣内ゼミ	宇都宮共和国大学	「まちづくりゲームTENMIYA」（10年後の宇都宮を考えるボードゲーム型学習ツール）を通じて、様々な世代が共に楽しみながらLRTの西側延伸が完了しているであろう10年後の宇都宮市のビジョンを検討・共有することにより、「共創の輪」を広げ、次世代に繋げることで、途絶えることのない未来創造を実現していくことを目指す。
12	ネットワーク型コンパクトシティに向けた宇都宮市の交通ネットワーク設計	宇都宮大学 藤井研究室	宇都宮大学大学院	宇都宮市が抱えている少子高齢化や交通渋滞、公共交通機関の利用者減少などの課題を解決するため、OD（Origin Destination）フローに基づく交通ネットワークの設計について提案する。
14	犬と人と地域の輪	ci-dod	宇都宮大学	コミュニティを形成するうえで重要となることは、継続的な交流があることと、共通点を持つことである。このことから、犬という共通点を持ち、散歩による継続的な交流ができることは、住民の関係性を深めることに寄与すると考えられる。そのため、私たちは犬に注目し、ドッグランを設置することで近隣住民の交流拠点をつくることを提案する。

※赤枠が上位入賞団体（1～3位、特別賞）
※13番目の団体は提案辞退